

完了後の評価個表

整理番号	24-1
------	------

事業名	森林居住環境整備事業	都道府県	鹿児島県
地区名	おおねじめあいら 大根占吾平	事業実施主体	鹿児島県、鹿屋市（旧吾平町）、 錦江町（旧大根占町）
関係市町村	鹿屋市（旧吾平町）、 錦江町（旧大根占町）	管理主体	鹿屋市（旧吾平町）、 錦江町（旧大根占町）
事業実施期間	H14～H19（6年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 当該地区は、鹿児島県大隅半島の中南部に位置し、東南部の国見山系に接続する八山岳から北西に延びる稜線の北東側（鹿屋市側）と南西側（錦江町側）を合わせた地域で、鹿屋市と錦江町では、効率的な林業経営の展開や森林空間の総合的な利用、地域住民の交流と活性化を図るため、様々な事業に取り組むなど林業の推進等に積極的な地域である。</p> <p>② 森林の状況 当地区の森林面積は1,057haで、約7割をスギ・ヒノキの人工林が占めているほか、人工林のうち、間伐等の森林整備が必要とされる4齢級（20年生）以上の森林の割合が9割に達している状況にある。 また、この地域は戦後から高度成長期にかけて多くの優良材が生産されていることから、今後もスギ・ヒノキの優良な林分に成長する期待がもたれている。</p> <p>③ 当地区を整備する目的・意義 当地区には、間伐等の森林整備が必要な林分や伐期を迎えた林分が多いことから、かつて多くの優良材を産出してきた地域の、森林・林業に対する積極的な取り組みが底流にある中で、高性能林業機械を利用した効率的な森林施業や生産事業の共同化などによる流域林業の活性化が期待されていた。 しかしながら、当地区内には効率的な森林施業に不可欠とされる林道等の基盤整備が未整備であったことから、林業生産基盤の整備のほか、地域山村集落の生活環境の整備や山村交流の促進等を図るために、鹿屋市吾平町麓地区と錦江町馬場地区を連絡する線形での基幹林道のほか、森林公園やアクセス林道などを併せて整備したものである。</p> <p>（事業概要） 森林基幹道整備 大根占吾平線（鹿屋市、錦江町） 車道幅員4.00m 開設延長 5,310m 利用区域面積 1,057ha アクセス林道整備 瀬戸谷線（錦江町） 車道幅員3.00m 開設延長 879m 利用区域面積 37ha 森林公園施設整備 町民の森（錦江町） 森林公園、散策道 用水施設整備 真戸原地区（鹿屋市） 用水施設（水源さく井 L=130m）</p> <p>総事業費 1,529,442千円 （当初総事業費 1,500,000千円）</p>
----------	--

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成25年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 事業コストの縮減を図るとともに、事業内容の変更（森林公園施設整備及びび用水施設整備を追加）により、地区内の施設整備を充実させたことなどにより総便益が増加し、森林整備に要する費用を計上したことにより総費用が増加した。</p> <p>総便益（B） 4,065,684千円 （事業採択時 1,688,408千円） 総費用（C） 2,521,300千円 （事業採択時 1,335,547千円） 分析結果（B/C） 1.61 （事業採択時 1.26）</p>
-------------------------	---

② 事業効果の発現状況	<p>① 基幹林道開設により、利用区域内森林への到達距離が短縮されたことから、森林施業時の作業通勤時間や林産物の搬出時間等の短縮が可能となるなど、森林へのアクセスが容易となった。</p> <p>② 基幹林道開設により、鹿屋市吾平町麓（神野）地区と錦江町馬場（半ヶ石）地区が連絡することで、両地区間の距離が既設公道を利用するより2割短縮され、集落間の交流が活性化されるほか、県道鹿屋吾平佐多線不通時の迂回路的役割も発揮できる。</p> <p>③ 基幹林道開設により、高性能林業機械等による効率的な森林施業が可能となったことから、利用区域内で近年、大規模な伐採並びに木材搬出が増えるなど林業生産活動が活発になってきている。</p> <p>④ 基幹林道並びにアクセス林道、散策道等の整備により、これまで入山の困難だった八山岳や利用区域内に自生するイヌマキ大樹、町民の森など森林レクリエーション施設へのアクセスが容易となり、森林散策や山菜採りなどレクリエーション活動を行う人々が年間を通じて訪れている。</p> <p>⑤ 真戸原地区の用水施設整備により、地域住民は、これまでの渇水期の水量減少や水質悪化、煩雑な水源管理作業等から開放され、生活環境の改善が図られた。</p>
-------------	--

<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>① 当事業により開設された基幹林道及びアクセス林道は、鹿屋市及び錦江町がそれぞれ定めた林道維持管理規程に基づき管理されている。 両市町による林道除草や側溝清掃等が毎年実施されており、維持管理状況は概ね良好である。</p> <p>② 当事業で整備された森林公園や散策道は、錦江町が管理しており、公園除草や案内板の設置等とても良好な管理が行われている。</p> <p>③ 当事業で整備された用水施設は、鹿屋市が管理しており、管理状況は良好である。</p>
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>基幹林道開設により、高性能林業機械等による効率的な森林施業が可能となったことから、利用区域内で近年、大規模な伐採並びに木材搬出が増えるなど林業生産活動が活発になってきている。 施設整備による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>基幹林道整備により、作業現場へのアクセスの改善、素材生産の低コスト化が図られたことから、森林施業の意欲も徐々に増進されてきているほか、森林レクリエーション施設へのアクセス道や生活道路としても利用されており、森林に対する理解も深まってきている。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林施業の実施に対する意欲が徐々に増進されてきているが、木材価格の低迷等により間伐等の実施状況が十分とは言えない状況であることから、森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を行い、積極的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の意見： 森林整備事業実施による土砂流出の防止、水源かん養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与している。（鹿児島県） <p>林道の開設後は、八山岳や利用区域内に自生するイヌマキ大樹、町民の森など森林レクリエーション施設へ訪れる者が増加してきているとともに、森林災害等の早期発見に寄与している。（鹿屋市、錦江町）</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 地元の意見にも見られるとおり、当事業の施工後は、土砂流出の防止、水源かん養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与するなど、当事業の効果が発揮されていること。 基盤となる路網の整備により森林の整備が実施されていること。 以上のことから、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 基幹林道の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、事業実施に当たってもコスト縮減に努め総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 路網の整備により、森林へのアクセスが容易になり、森林整備を実施するコストも縮減されることから、今後も事業効果の発現が見込まれていること。 路網等の整備により森林レクリエーション施設へのアクセスが容易となり、森林散策や山菜採りなどレクリエーション活動を行う人々が増え、森林の多面的機能の発揮が期待できること。 林道が災害時の迂回路としても機能していること。 用水施設整備により、地域住民の生活環境の改善が図られた。 以上のことから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

事業名：森林居住環境整備事業

都道府県名：鹿児島県

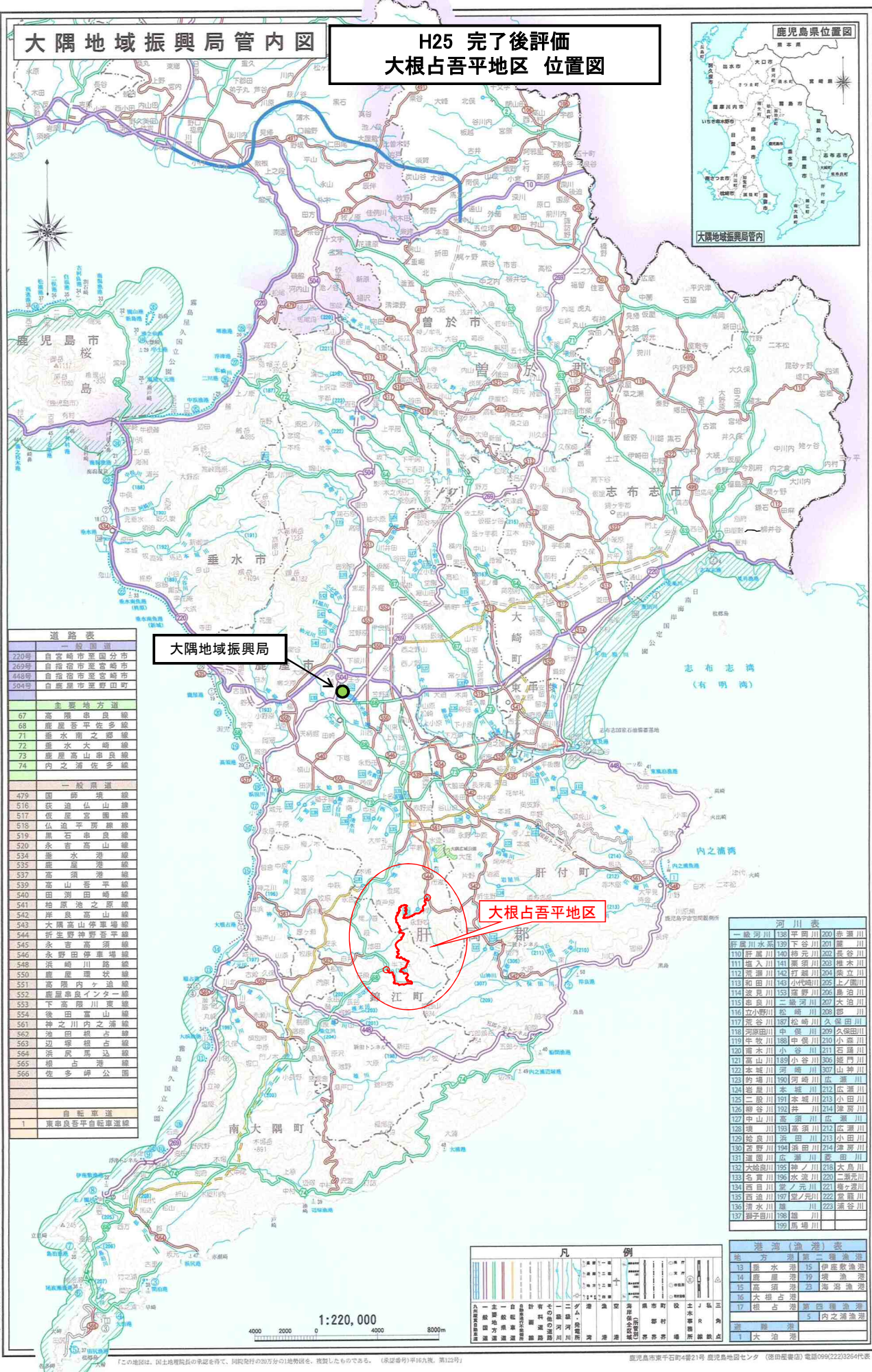
地域(地区)名：おおねじめ あいら大根占吾平

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	1,344	
	木材利用増進便益	625	
	木材生産確保・増進便益	84,851	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	5	
	森林管理等経費縮減便益	3,404	
	森林整備促進便益	3,383,038	
森林の総合利用便益	フォレストアメニティ施設利用便益	135,303	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	293,205	
維持管理費縮減便益		34,133	
山村環境整備便益	生活用水確保便益	129,776	
総 便 益 (B)		4,065,684	
総 費 用 (C)		2,521,300	
費用便益比	$B \div C = \frac{4,065,684}{2,521,300} = 1.61$		

大隅地域振興局管内図

H25 完了後評価 大根占吾平地区 位置図



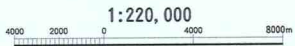
道路表	
220号	自宮崎県至国分市
269号	自指宿市至宮崎市
448号	自指宿市至宮崎市
504号	自鹿屋市至野田町
主要地方道	
67	高隈南良線
68	鹿屋吾平佐多線
71	垂水南之郷線
72	垂水大崎線
73	鹿屋高山唐良線
74	内之浦佐多線
一般県道	
479	國崎境線
516	秋田仙山線
517	飯屋宮園線
518	仏道平野線
519	鹿石唐良線
520	赤音高山線
534	垂水港線
535	鹿屋港線
537	高須港線
539	高山吾平線
540	田洲田崎線
541	柏原池之原線
542	鹿屋高山線
543	大隅高山保重線
544	折笠野野吾平線
545	赤音高山線
546	赤野田唐良線
548	流石川線
550	鹿屋境線
551	高隈内ヶ迫線
552	鹿屋唐良インター線
553	下高隈川東線
554	後田高山線
561	神之川内之浦線
562	浦田線
563	辺境線
564	赤馬馬込線
565	境占港線
566	安多峠公園
自転車道	
1	東鹿屋吾平自転車道線

大隅地域振興局

大根占吾平地区

河川表			
一級河川	138 平島川	200 赤通川	
二級河川	139 下谷川	201 鹿谷川	
140 鹿屋川	202 徳元川	203 徳谷川	
141 徳元川	204 徳元川	205 徳元川	
142 徳元川	206 徳元川	207 徳元川	
143 徳元川	208 徳元川	209 徳元川	
144 徳元川	210 徳元川	211 徳元川	
145 徳元川	212 徳元川	213 徳元川	
146 徳元川	214 徳元川	215 徳元川	
147 徳元川	216 徳元川	217 徳元川	
148 徳元川	218 徳元川	219 徳元川	
149 徳元川	220 徳元川	221 徳元川	
150 徳元川	222 徳元川	223 徳元川	
151 徳元川	224 徳元川	225 徳元川	
152 徳元川	226 徳元川	227 徳元川	
153 徳元川	228 徳元川	229 徳元川	
154 徳元川	230 徳元川	231 徳元川	
155 徳元川	232 徳元川	233 徳元川	
156 徳元川	234 徳元川	235 徳元川	
157 徳元川	236 徳元川	237 徳元川	
158 徳元川	238 徳元川	239 徳元川	
159 徳元川	240 徳元川	241 徳元川	
160 徳元川	242 徳元川	243 徳元川	
161 徳元川	244 徳元川	245 徳元川	
162 徳元川	246 徳元川	247 徳元川	
163 徳元川	248 徳元川	249 徳元川	
164 徳元川	250 徳元川	251 徳元川	
165 徳元川	252 徳元川	253 徳元川	
166 徳元川	254 徳元川	255 徳元川	
167 徳元川	256 徳元川	257 徳元川	
168 徳元川	258 徳元川	259 徳元川	
169 徳元川	260 徳元川	261 徳元川	
170 徳元川	262 徳元川	263 徳元川	
171 徳元川	264 徳元川	265 徳元川	
172 徳元川	266 徳元川	267 徳元川	
173 徳元川	268 徳元川	269 徳元川	
174 徳元川	270 徳元川	271 徳元川	
175 徳元川	272 徳元川	273 徳元川	
176 徳元川	274 徳元川	275 徳元川	
177 徳元川	276 徳元川	277 徳元川	
178 徳元川	278 徳元川	279 徳元川	
179 徳元川	280 徳元川	281 徳元川	
180 徳元川	282 徳元川	283 徳元川	
181 徳元川	284 徳元川	285 徳元川	
182 徳元川	286 徳元川	287 徳元川	
183 徳元川	288 徳元川	289 徳元川	
184 徳元川	290 徳元川	291 徳元川	
185 徳元川	292 徳元川	293 徳元川	
186 徳元川	294 徳元川	295 徳元川	
187 徳元川	296 徳元川	297 徳元川	
188 徳元川	298 徳元川	299 徳元川	
189 徳元川	300 徳元川		

港湾(漁港)表	
地方港	第2種漁港
13 鹿屋港	15 伊能敷漁港
14 鹿屋港	19 須崎漁港
15 高須港	25 海湯漁港
16 大根占港	
17 大根占港	第1種漁港
5 内之浦漁港	
1 大泊港	



鹿児島県大隅地域振興局

この地図は、国土庁地質院長の承認を得て、国院発行の1:25,000地形図をもとに、複製したものである。(承認番号)1819号、第112号
鹿児島市東千石町4番2号 鹿児島地図センター (鹿児島県) 電話099(22)3264代表